企画・制作　読売新聞東京本社広告局　広告

海外プロジェクト探検隊 ～世界の世界情報を私に行こう！～

Vol.1 夏休み ブルネイLNG プロジェクト 体験ツアー

日本の高校生がブルネイへ

商社の海外事業や現地の文化を体感

ツアーに参加された皆さん

高校生ら3最初に訪れたのは、ブルネイ西部の沿岸にあるLNGプラント。海上の桟橋には、LNGタンカーに液化天然ガスを積み込む施設もある。

ブルネイ政府と三菱商事が出資する「ブルネイLNG」の第4プラントは、1日に約28万5000バレル分の天然ガスを処理する。1日に大型タンカー2隻分の液化天然ガスを積み込むことができる。

わずかな人の警備が常駐するコントロールセンターを訪ねると、ブルネイ人エンジニアから「ブルネイ国営石油会社（ブルネイ・シェル）からブルネイLNGに出向して3年間勤務している」と説明を受けた。

ブルネイ国営石油会社は、三菱商事と70年に液化天然ガスの売買契約を結んだ。

パイプラインを通って沖合に建設されたタンカーに積み込まれる。高校生らは、パイプラインと巨大タンクの威容に圧倒されていた。

カーを固定する装置にも、ブルネイ人の技術者が参加していた。

「ブルネイ人の技術者が、日本人と同じように仕事をしていることに驚いた。日本人にとってLNGを運び続けるためには、ブルネイ人の技術者をいかに育てるかが重要なことを学んだ」と話していた。

リポート1 ブルネイ産LNGの9割が日本へ 生産現場をリポート

日本の高校生3人が8月、石油や液化天然ガス（LNG）で潤う東南アジアのブルネイを4泊5日で訪れた。LNG事業やブルネイ経済と密接なかかわりを持つ三菱商事などを取材・日本に戻ってまとめるのが、真剣な生徒らは、LNGプラントや真新しい都市、豊富な資源を目のあたりにし、現地の学生らとの交流会なども経験。新鮮な驚きと発見から、多くのことを学んだようだった。

ツアーに参加された皆さん